

# 多素子SDD蛍光X線検出器システム

MADE IN JAPAN

多素子化と最適DSP処理により高計数、高感度を実現

SYSTEM

材料分野の構造解析などで用いられているX線吸収微細構造測定に必要な検出器、データ計測ボード、電源が一つになりました。高い計数率とエネルギー分解能を有したSDD検出器を多素子化し高感度化を実現しました。また、トランジスタリセット処理とDSP処理を適切に行うことで高計数測定が可能です。

## XSDD50-07

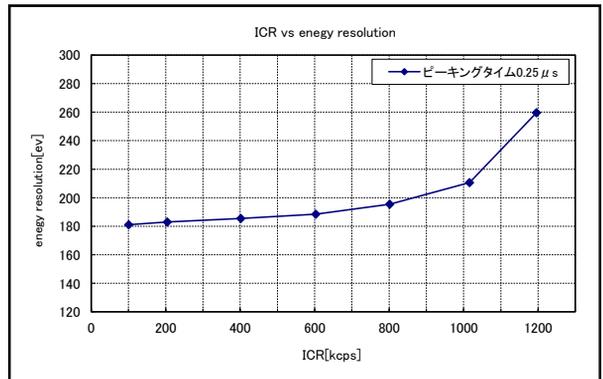


### 【構成例】

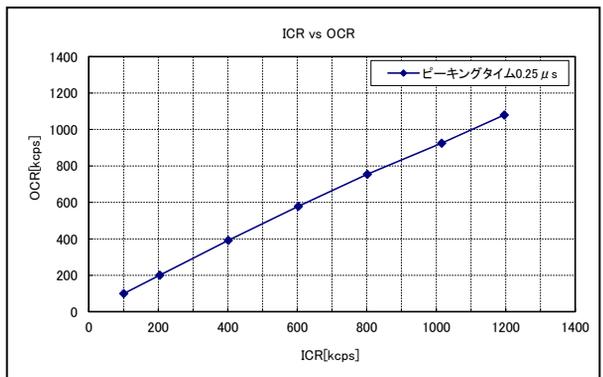
100MADC・SDD電源



- 全素子面積 455mm<sup>2</sup> (65mm<sup>2</sup> × 7素子)
- 全有効面積 350mm<sup>2</sup> (collimated to 50mm<sup>2</sup> × 7素子)
- 機能 ヒストグラム、リスト、波形、ROI-SCA
- ADC 8CH 100MSPS 14bit
- エネルギー分解能 244eV@5.9keV MnKa  
(ピーキングタイム0.25μs、1000kOCR)
- SDD電源 -200V、±5V、+3.3V
- 通信 イーサネット (TCP/IP)
- 付属 アプリケーション、取扱説明書



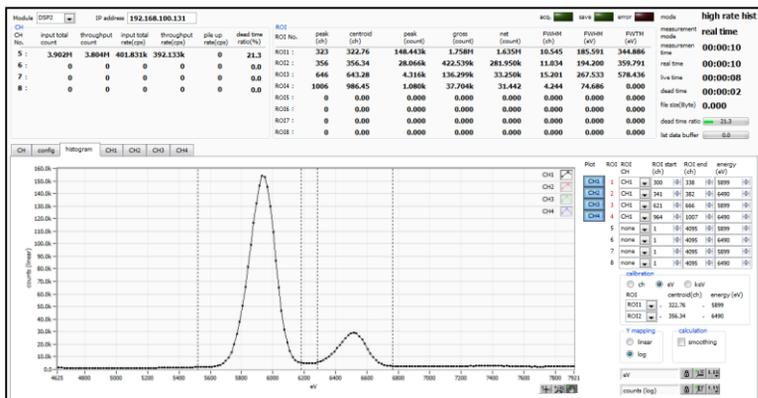
### ICR vs エネルギー分解能



### ICR vs OCR

※ 記載内容は予告なく変更することがあります。

400k ICR 185eV@5.9keV 0.25μsピーキングタイム  
データ収集用アプリケーション例



# TechnoAP

放射線・放射能測定装置 設計・開発・販売

株式会社テクノエーピー

〒312-0012茨城県ひたちなか市馬渡2976-15  
☎ 029-350-8011  
☎ 029-352-9013  
✉ order@techno-ap.com  
🌐 http://www.techno-ap.com

更新日 2016/08/08